

第3章 国際テロ情勢

国際テロ

情勢

平成28年の国際テロ情勢は、I S I LやA Q^(注) 関連組織の活動と影響がイラク及びシリア以外の世界各地で伸張したことに特徴付けられます。

I S I Lは、26年にカリフ制国家の樹立を自称して以降、イラク及びシリアにおいて勢力を拡大し、I S I L支持を表明する世界各地の組織の一部をI S I Lの「州」と認めるなど、世界のテロ情勢を大きく変化させました。I S I Lは、米国主導の有志連合による空爆等を受けイラクやシリアにおける支配域を失いつつありますが、28年6月の**米国・フロリダにおける銃乱射テロ事件**、7月の**フランス・ニースにおける車両等使用テロ事件**、12月の**ドイツ・ベルリンのクリスマス市^{いち}における車両使用テロ事件**等、I S I Lに忠誠を誓った者が実行したとみられるテロが引き続き発生していることを踏まえると、いまだに世界各地のテロに影響を及ぼしているといえます。



フランス・ニースにおける車両等使用テロ事件
(ロイター/アフロ)

A Q関連組織は、活動する地域の政府、治安機関、国連平和維持活動に従事する外国軍等を狙ったテロを行っており、こうした地域では依然、大きな脅威となっていることに加え、欧米諸国等の権益を標的としたテロを企図する組織も存在するなど、いわゆるグローバル・ジハードの志向を持ち続けています。

また、I S I LやA Qを始めとするテロ組織や過激主義者らは、インターネット上の各種メディアやSNSを利用して過激思想の流布やリクルートを効果的に行っています。こうした扇動に影響を受けて自国内で過激化した者、いわゆるホームグロウン・テロリストによって引き起こされたとみられるテロ事件が欧米諸国を始め世界各地で発生しています。このほかにも、世界各地において、中東、アフリカ等の戦闘地域に渡航し、I S I L等に加わり実戦を経験した者、いわゆる**外国人戦闘員 (F T F : Foreign Terrorist Fighters)**が中心となってテロを企図・実行した事件が既に発生しており、今後もこうした外国人戦闘員によるテロの扇動又は実行が強く憂慮されます。



I S I Lがインターネット上に配信した英語版オンライン雑誌 (RUMIYAH/ルーミーヤ)

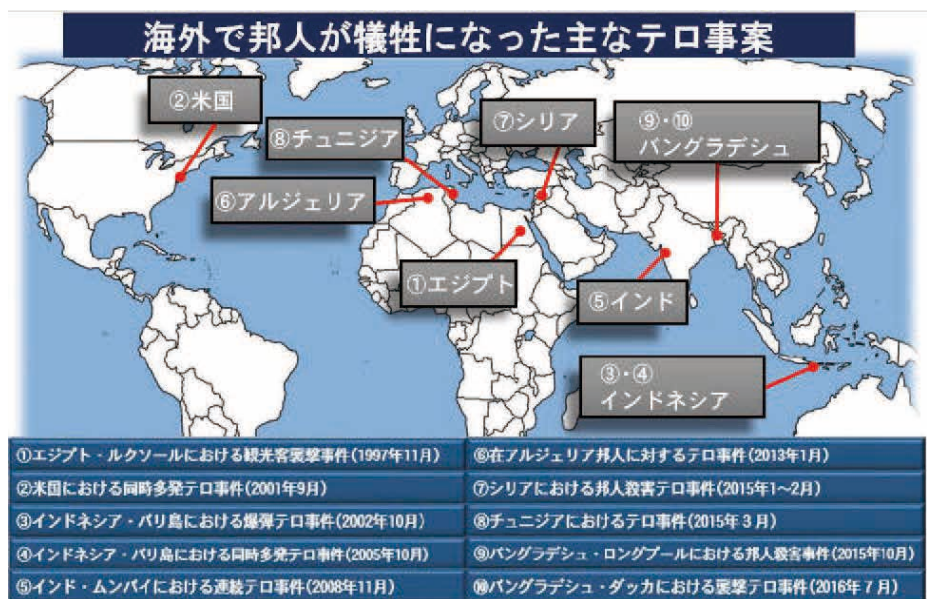
(注) : Al-Qaeda(アル・カーイダ) の略

我が国へのテロの脅威

28年中も国外において邦人が被害者となるテロ事件が発生しました。3月のベルギー・ブリュッセルにおける連続テロ事件では、32人が死亡し、邦人2人を含む約340人が負傷したほか、7月のバングラデシュ・ダッカにおける襲撃テロ事件では、武装集団がダッカ市内のレストランを襲撃し、人質をとって立て籠もり、邦人7人を含む20人の人質が殺害されました。これらの事件では、意図的に邦人や我が国の権益を標的としたかどうかは必ずしも明らかではありませんが、過去には邦人や我が国の権益が標的となる事案が発生していることから、今後も、巻き添えとなるものも含め、**我が国の権益や邦人がテロ事件の被害に遭うことが懸念されます。**

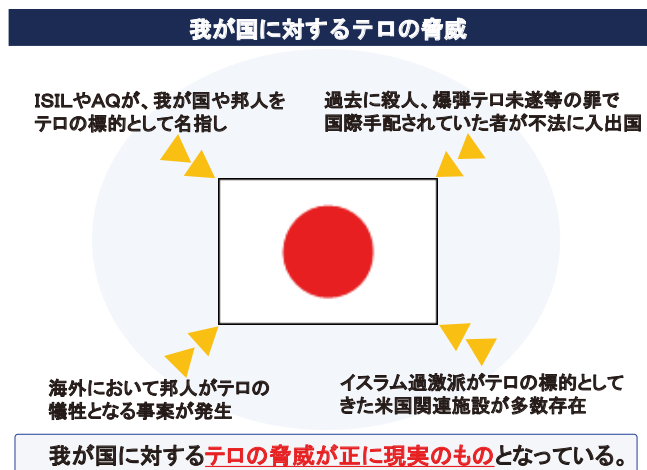
これまでもISILは、公開した動画やオンライン機関誌「ダービク」において、**我が国**

や邦人をテロの標的として繰り返し名指ししています。また、AQについても、米国及びその同盟国に対する戦いを標榜し続けており、米国と同盟関係にあり、多くの米国権益を国内に抱える我が国がテロの標的となる可能性は否定できません。



さらに、欧米においては、外国人戦闘員やホームグロウン・テロリストによるテロ事件が数多く発生していますが、我が国にとっても無縁の問題ではありません。我が国においても、ISILに戦闘員として加わるためにシリアへの渡航を企てた疑いのある者について、警視庁が私戦予備陰謀被疑事件として捜査を行っているほか、依然として、**国内にISIL関係者と連絡を取っていると称する者や、インターネット上でISILへの支持を表明する者が存在しており、日本国内においても過激思想に影響を受けた者によるテロが発生する可能性は否定できません。**

これらの事情に鑑みれば、我が国に対するテロの脅威は正に現実のものとなっているといえます。



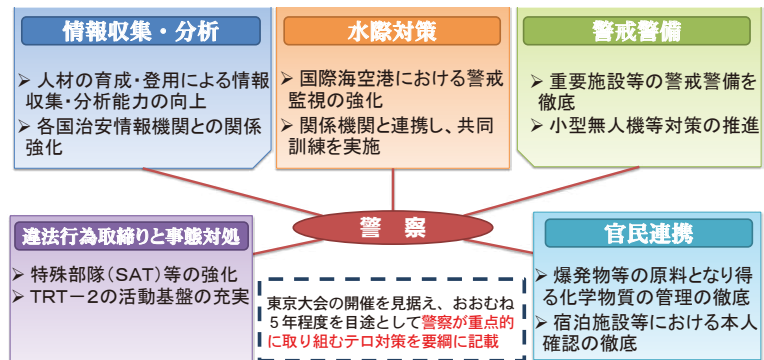
第3章 国際テロ情勢

国際テロ対策

■ 「警察庁国際テロ対策強化要綱」について

我が国における国際テロの脅威が現実のものとなっている中、27年6月、改めてテロの未然防止及びテロへの対処体制の強化に取り組むため、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催までに、おおむね5年程度を目途として強力に推進すべき対策を取りまとめた「警察庁国際テロ対策強化要綱」を決定・公表しました。

警察では、同要綱に基づき、情報収集・分析、水際対策や警戒警備、事態対処、官民連携といったテロ対策を強力に推進しているところ、同年11月のフランス・パリにおける同時多発テロ事件の発生を受け、爆発物の原料となり得る化学物質等への対策、ソフトターゲット対策等、各種テロ対策を強化・加速化しています。



警察庁国際テロ対策強化要綱の概要

■ 情報収集と捜査

国際テロ対策の要諦はその未然防止にあり、そのためには、幅広い情報の収集及び的確な分析が不可欠です。警察では、情報の収集・分析の結果、テロの実行に向けた動向を把握した場合や違法行為を認知した場合には、法と証拠に基づき厳正に対処することとしています。

また、邦人や我が国の権益に係る重大テロが国外で発生した場合等には、情報収集や現地当局に対する捜査支援を任務とする**国際テロリズム緊急展開班（TRT-2）**を派遣しています。

【事例】 在日インドネシア人による外国為替及び外国貿易法違反（ライフルスコープ無許可輸出）事件の検挙（27年11月、警視庁）

警視庁は、輸出に際して経済産業大臣の許可を受けなければならないライフルスコープを、同許可を受けずにインドネシアに輸出したとして、在日インドネシア人2人を逮捕しました。被疑者のパソコン等には、**イスラム過激派の思想に共鳴していたとみられる画像や、爆発物の製造に関する動画が保存されていた**ことが明らかになっています。



爆発物の製造に関する動画

■ 国際協力の推進

28年5月に開催された伊勢志摩サミットでは、G7伊勢志摩首脳宣言の附属文書として「テロ及び暴力的過激主義対策に関するG7行動計画」が発出されるなど、サミットや国際連合等の場において、国際テロ対策に関する活発な議論がなされています。

警察庁では、平素からの各国治安情報機関等との連携のほか、国際会議等への積極的な参加や、世界各国から招へいした実務者に対する捜査技術に関するノウハウの提供を行っています。

■ 官民一体の日本型テロ対策

テロを未然に防止するためには、警察と民間事業者や地域住民等が緊密に連携して行う**官民一体の「日本型テロ対策」**を全国的に推進する必要があります。このため警察では、官民連携の枠組みを構築し、研修会、訓練、パトロール等を実施しています。

例えば、我が国においても、薬局、ホームセンター、インターネット等で購入した化学物質から爆発物を製造する事案が発生していることを受け、警察では、爆発物の原料となり得る化学物質11品目^(注)を指定し、その適正な管理等について、業界団体、学校等に対する周知・指導を関係省庁に要請するとともに、都道府県警察において薬局、ホームセンター等の店舗、企業本社、業界団体や学校等への個別訪問を継続的に行い管理強化等を要請しています。また、販売事業者に対しては、不審購入者の来店等を想定した**ロールプレイング型訓練**を事業者と実施するなどして、販売時における本人確認の徹底、保管管理の強化、不審情報の通報等を要請しています。

さらに、テロリストが利用する可能性があるホテル等の宿泊施設、インターネットカフェ、レンタカー事業者等との連携を図り、テロ等違法行為の未然防止に努めています。



警察と薬局従業員との
ロールプレイング型訓練（5月、宮城）

日本赤軍

警察は、27年2月、ジャカルタ事件の被疑者である日本赤軍メンバー城崎勉を逮捕しました。28年11月、東京地方裁判所は懲役12年の判決を言い渡しましたが、弁護側は即日控訴しています。日本赤軍は過去に「解散」を表明していますが、いまだ、過去に引き起こした数々のテロ事件を称賛していること、現在も7人の構成員が逃亡中であることなどから、「解散」はテロ組織としての本質の隠蔽を狙った形だけのものに過ぎず、テロ組織としての危険性がなくなったとみることはできません。

警察では、国内外の関係機関と連携を強化し、逃亡中の構成員の検挙及び組織の活動実態の解明に向けた取組を推進しています。



「よど号」グループ

昭和45年3月31日、故田宮高麿^{たかまろ}ら9人が、東京発福岡行き日本航空351便、通称「よど号」をハイジャックし、北朝鮮に入境しました。現在、ハイジャックに関与した被疑者5人及びその妻3人が北朝鮮にとどまっているとみられており、このうち3人に対し、日本人を拉致した容疑で逮捕状が発せられています。

警察では、「よど号」犯人らを国際手配し、外務省を通じて北朝鮮に対して身柄の引渡し要求を行うとともに、「よど号」グループの活動実態の全容解明に努めています。



(注)：硫酸、塩酸、過酸化水素、硝酸、塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、尿素、硝酸アンモニウム、アセトン、ヘキサミン及び硝酸カリウムの11品目